

小林眞市長（左から3人目）に全国大学選手権東北北海道代表決定戦出場を報告した八学大ラグビー部の選手ら。23日、八戸市庁



## 東北北海道代表 決定戦へ意気込み

八学大ラグビー部  
地区リーグ優勝報告

ラグビーの東北地区大学リーグ1部で4年ぶり2度目の優勝を果たした八戸学院大の選手ら5人が23日、八戸市庁に小林眞市長を訪ね、全国大学選手権東北北海道代表決定戦（11月3日・宮城県サッカー場）への意気込みを語った。

今季は東北学院大や東北大などを相手に、5試合でわずか4トライしか許さない堅い守りを武器に全勝優勝。工藤祐太郎監督は「デフエンスに力を入れてきた成果が表れた」と語った。

た。

阿部健悟主将は「『愛されるチーム』をテーマにボランティアにも取り組んできた。地道な活動が試合での粘り強い戦いにつながった」と笑顔で話した。

八学大は東北北海道代表決定戦で、北海道大と対戦する。2015年と同カードで、前回は八学大が全国への切符を手に行っている。坂本宇大主将は「互いにデフエンスが良いチーム。我慢比べになると思うが、真っ向勝負で勝ちにいこう」と闘志を燃やした。

小林市長は「力強い戦いで、ぜひ全国大会へ行つてほしい」と激励した。

（上村公悟）